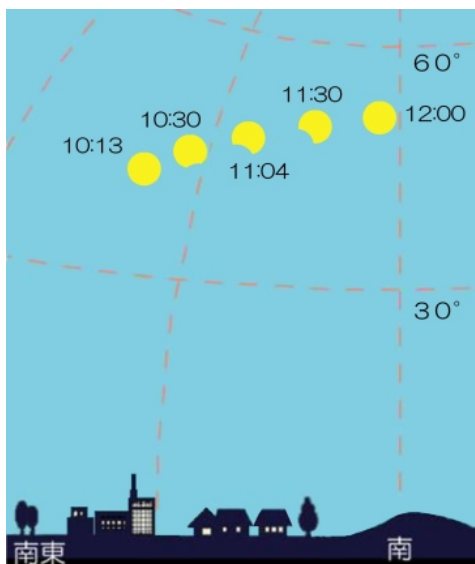


3月9日の部分日食



3月9日（水）の昼前に、富山県内で約4年ぶりに日食が見られます。今回は直径の約21%が欠けます。富山市では午前10時13分27秒から欠け始め、11時4分13秒に最大となり、11時55分49秒に終了します。

日食は太陽の前を月が通り、太陽を隠す現象です。月は太陽に対し西から東へ移動しますので、見かけ上、太陽は右の方から欠けはじめ、左の方へと移動します。また、月と太陽のみかけの大きさがほぼ同じなので、月が太陽を完全にかくす時には太陽の大気（コロナ）が見えることがあります。これを皆既日食といいます。今回はインドネシアから太平洋

にかけて皆既日食が見られます。

太陽の光は強烈で、直接目で見ると大変危険ですので、絶対に行わないでください。右の図のように指で小さな輪をつくり、白い紙に映したり、下の図のように太陽の光を窓際で鏡に反射させて、室内の白い紙に太陽を映す方法をお勧めします。

なお、富山市天文台では観測会を行いますので、ぜひお越しください（雨天時は中止）。（渡辺誠）



影の形

太陽の形

親指と人差し指で小さな輪をつくり、白い紙に映してみよう（2004年10月14日撮影）

★ 鏡に反射させる方法

★ 鏡の作り方

- ① 紙を鏡の大きさに合わせて切り、中央に直径約10mmの穴をあけます。



* 穴は、丸くなくても大丈夫です。

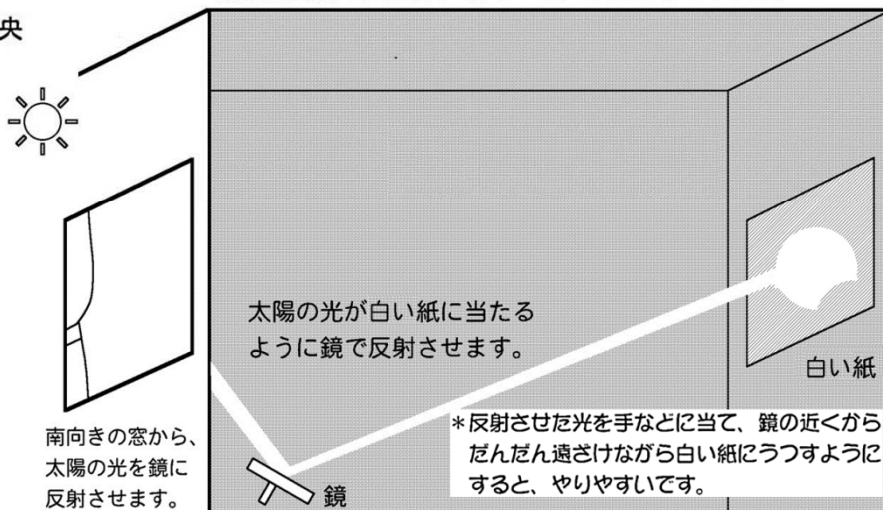
- ② ①の紙を鏡にはります。



* 穴のまわりが浮いてしまわないようにしっかりとしましょう。

★ 観察のしかた

窓と反対側の壁に白い紙をはり、部屋を暗くします。



* 反射させた光を手などに当て、鏡の近くからだんだん遠ざけながら白い紙にうつすようにすると、やりやすいです。